

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 23 年 12 月 26 日

審査機関名 社団法人日本能率協会

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	サッポロスポートプラザ PAL 川口 ボイラー排気熱回収による CO2 排出削減事業
承認番号	JCDM-PJ0111
排出削減事業者名	株式会社サッポロスポートプラザ
排出削減共同実施事業者名	株式会社リサイクルワン (その他関連事業者名：株式会社トリリオン)
事業実施場所	サッポロスポートプラザ PAL 川口 (埼玉県川口市並木元町 1 番 64 号)
事業の概要	スポーツクラブ施設内の給湯及び、プール・浴槽の熱源となっている既設ガス焚式温水ボイラーの煙道に排気熱回収装置を設置し、排気熱より熱回収を行う事で給湯の補給水予熱を行い、ボイラーの高効率化を図り CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2009 年度：38 tCO2/年 2010 年度：38 tCO2/年 2011 年度：38 tCO2/年 2012 年度：38 tCO2/年 (事業実施期間合計 152 tCO2)
国内クレジット認証期間	開始日 2009 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2009 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日 (第 1 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	78 tCO ₂ (2009年4月1日～2011年3月31日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	<p>排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果、生じていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 開始日の確認 排出削減事業計画の現地審査実施時にプロジェクト対象設備である排熱回収装置は導入されていることを確認した。また、プロジェクト開始日が承認排出削減事業計画通りであることを都市ガス使用実績、及び、排熱回収装置導入の効果を図るために作成された測定記録により確認をした。2) 対象期間中の設備稼働確認 本実績報告期間において導入設備である排熱回収装置が稼働していることを、実績報告期間中の都市ガス使用実績、及び、排熱回収装置導入の効果を図るために作成された測定記録により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none">1) モニタリング方法の確認 承認排出削減方法論、及び、承認排出削減事業計画に従い、都市ガスメーター使用量のモニタリングが実施されていることを確認した。2) 活動量の正確性 活動量は採用されていない。3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認

	<p>排出削減量の算定式、及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、排出削減方法論（別表）、及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>根拠資料との突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程、計算結果の確認により、排出削減量の算定方法及び算定結果は正確であることを確認した。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2009 年 4 月 1 日から 2011 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

本実績報告期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点が無いことを確認した。

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネルギー利用量について、原油換算 39.3KL であることを確認した。

以上